

「コロナ危険手当1日3000円を」

東タク協 都に支援策要望



川鍋会長（左から2人目）が都民ファーストの会の増子幹事長に要望書を手渡した。左端は川野副会長（5月28日、西新宿）

産業労働局長に文書を手渡した。

要望では、危険手当の支給単位を「1労働日」に設定。隔日勤務の場合、2日分とした。「乗務員の労働意欲の向上と、タクシー産業からの労働力流出を防ぐ観点から必要不可欠」と強調した。タクシーチケットの配布に関し、「コロナの感染予防につながり、需要激減のタクシー事業の救済にも寄与する」と訴えた。

教習所への休業要請解除の理由として、「乗務員希望者にとって二種免許の取得は必須。密集、密閉、密

東京ハイヤー・タクシー協会（川鍋一朗会長）は新型コロナウイルスの影響で営業収入が低下しているタクシー事業者への支援策として、東京都と議会各党・会派に対し、乗務員に1日当たり3000円の「危

険手当」の支給▽高齢者・障害者、子育て中の親らへのタクシーチケットの配布▽自動車教習所に対する休業要請の早期解除―を要望した。川野繁副会長（飛鳥交通社長）が8日、西新宿の都庁を訪れ、村松明典

接を避ける方策を講ずるなどし、早期に取得が可能となるように」とした。

「タクシーが都民の生活に不可欠な公共交通として使命を遂げ、雇用の維持、事業の継続を果たすために特段の配慮を」と求めた。

川鍋会長（日本交通会長）は5月28日、川野副会長とともに、都議会自民党の鈴木章浩幹事長と都民ファーストの会都議団の増子博樹幹事長に要望書を手渡した。